

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

思いがけず 寒気に襲われた植物は 負けじと耐えている

教会からのオススメの一冊

「大切なものはわずかです。ローラ・インガルス29の知恵」

ローラ・インガルス・ワイルダー著
ステイブン・ハインズ編
結城絵美子訳

(いのちのことば社フォレストブック発行)

ローラ・インガルス・ワイルダーといえば…、ドラマ「大草原の小さな家」の主人公。私も幼い頃はこのドラマを楽しみにして観ていたものです。ドラマで一躍有名になった彼女ですが、実はクリスチャン作家として数々の著書を出したことは、日本ではほとんど知られていません。

本書は、一人のクリスチャン女性として、彼女がありのままの体験を記したエッセー短編集です。各エピソードはどれも、一見ごくありふれた、それでいて、何か心に温かいものが染み渡るような印象を受けるものばかりです。彼女との間に100年もの時が隔たっていることなど忘れてしまうほどです。

「どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリアはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」



これは、本書第9章「引き算のスキル」で掲げられている聖書の言葉です。こうした各章の聖書の言葉を心に置きながら本文を味わうと、不思議なように聖書が身近に、また新鮮に感じてきます。聖書に書かれている言葉は、決して私たちの手の及ばない、遠くかけ離れたところではなく、私たちのすぐ側、日常生活の真っ只中、人生の真っ只中で語られているのだということに気がつくのです。そうしたことの一つ一つが、神様が私たちに与えてくださる「大切なもの」なのではないかと考えさせられます。

本書には、「両親の教えは羅針盤の針」「過去に逃げず、未来を築く」「ほほえみという名の武器」「穏やかに勇敢に年をとる秘訣」「人間関係をよくする判断力」(いずれも本書見出しより)など、興味深いトピックスが詰まっています。ぜひ一度、本書をお手にとって、彼女の語るエピソードを通して、聖書から「大切なもの」を受け取っていただきたいと願っています。



2018

2月号 126

宝塚栄光教会

教会のひとこま

成人祝福式

毎年、成人の日の前日、日曜日に礼拝の中で祝福式が行われます。今年は2名の新成人が牧師先生に手を置いていただき、これから神様の祝福の内を歩んでいようお祈りしていただきました。



もちつき

すっかり恒例になったもちつき。新潟から送られた餅米を、老いも若きも一生懸命つき、つきたてのやわらかいおもちを、おいしくいただきました。



INFORMATION

スプリング・
イースター・コンサート Vol.8

入場無料



4/8 (日) 15:00~ ピアノ演奏: 藤丸 麗 さん
毎年春にめぐってくるイースター。イエス・キリストが墓から復活されたことを喜び祝うこの時、ピアノの演奏を通して神様の祝福を知っていただきたいです。

はっぴいイースター in 宝塚 入場無料

4/14 (土) 14:00~ 講師: 野田 詠氏 さん



イースターの前後に、様々な人をお呼びして、お話を聞いたり音楽を楽しんだりしています。今年は、暴走族から牧師になるという、ユニークな経歴をもつ野田さんからその働きと想いを聞きます。

ケアプラン
デイサービス
オリーブの実

「ケアプラン オリーブの実」
☎: 0797-73-6055

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>

教会ホームページのパナーからもアクセスできます。

お気軽にお問い合わせ、
ご相談ください。

「デイサービス オリーブの実」
☎: 0797-73-6077

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL: 0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル

毎週更新、24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

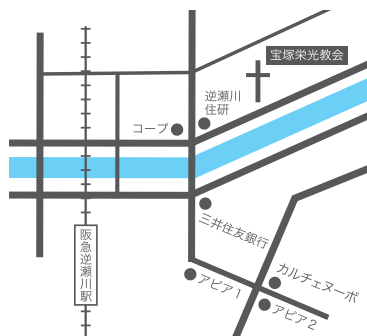
でも配信中心!

ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



神のことばによって生きる

私たちは、毎日食事をいただきます。日々の糧が与えられていることは感謝すべきことです。世界には多くの飢えた人々がいるのですから。

しかし、ここで少し立ち止まって考えてみませんか。食べる物が不足なくあれば、それで幸福でしょうか。最近まとめられた報告によれば、日本における犯罪率は下がった反面、殺人、婦女暴行などの凶悪犯罪は増加したと発表されています。幼い子どものいのちが、いとも簡単に奪われるという痛ましい事件があとを絶ちません。物質的には十分恵まれていながら、狂気としか言いようのない行動に出るのは、一体どうしたことでしょうか。大切なものが欠けているのです。神のことばによって与えられる真のいのちです。

キリストが荒野でサタンに試みられた時に言われた言葉はよく知られています。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」(マタイの福音書4章4節)

私たちを本当の意味で生かすのは、口からおなかに入る食物ではなく、魂に入る神の

ことばです。神のことばとは、聖書に書かれている言葉であり、また教会の礼拝などで牧師によって語られる聖書のお話です。その神のことばによって、自分の罪がわかり、キリストの十字架による救いがわかります。そして、信じて罪から救われ、内に永遠のいのちが与えられるのです。

罪とは反社会的な犯罪のことだけではなく、私たち全ての人間が内に持っている、神に逆らう心の傾向のことです。この罪を持ったままでは、私たちは永遠に滅びます。

そのような私たちが、滅びないようにと、神はご自分のひとり子キリストを十字架におかけになりました。キリストは私たちの身代わりになり十字架で死なれました。私たちが、自分の罪を悔い改め、キリストの十字架を信じるなら、すべての罪が赦され、私たちは救われます。そして、永遠のいのちをいただいて、神のことばによって生きる者になります。

あなたは永遠のいのちを持っていますか。神のことばによって生かされておられますか。キリストの十字架の救いをいただいて、真のいのちにあふれる人生を始めませんか。



「2月の山」

2月の山は 明るい
射し込む光が もう真冬ではない
荒々しい 突き刺すような 風雪も止んで
穏やかで 落ち着いている
届いてくる 光の表情には 柔らか味がある

こんなことを思いながら 山に居ると
時間が いつもより ゆっくり流れていき
気もちも すなおになっていく

遠くに見える ダケカンバの枝々も
優しく 見えてくる
厳しさを くぐり抜けた後の 安らぎのように見える

見ると 白樺の根元に 雪解が 始まっていた
根は生きているから 根は呼吸しているから 暖かいのだ
冷たい雪の氷を 溶かす力は 生命の力だ
凍える雪の 下にあっても 消えることはない
生命の春へと 向かっていく
生きていく

光の結ぶ実は あらゆる善意と 正義と 真実なのです

エペソ5章(聖書)